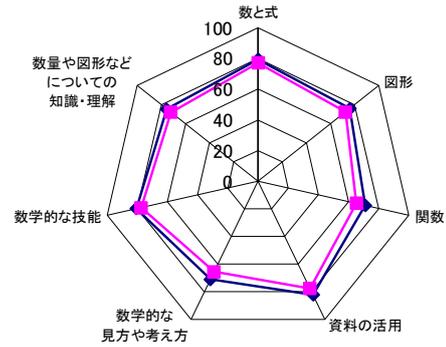


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	79.3	77.1	71.0
	図形	76.0	72.4	59.3
	関数	71.1	65.2	51.0
	資料の活用	82.2	77.6	67.1
観点別	数学的な見方や考え方	71.0	65.5	48.8
	数学的な技能	80.7	77.5	69.8
	数量や図形などについての知識・理解	75.5	72.1	61.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



● 本校      ● 市

## ★指導の工夫と改善

○ 良好な状況が見られるもの    ● 課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>平均正答率は、二問を除いて市の平均を上回っており、領域全体では2.2ポイント上回っている。</p> <p>○3年生で学習する「分母を有理化し、根号を含む式の加法」「2次方程式の方程式をつくる」に問題では、市の平均を7ポイント以上上回っており、学習内容がしっかりと身につけている。</p> <p>●同類項をまとめる問題と因数分解の問題では、市の平均を約1ポイント下回っている。</p>	<p>・2次方程式や連立方程式などで、指定された解き方で解けるように、苦手とする解き方が出ないように、授業時数の配分や補充問題などを考える。</p> <p>・文章を読んで、立式をすることには慣れていないが、式から何を表しているかを読み取ることは慣れていない。そのために、授業の中で、他の生徒がつくった式を見てどのように考えたのかを予想したり、式が表していることを考えたりすることを授業の中で取り入れていくようにする。</p> <p>・計算や方程式を解くなど、基本的なことはさらにスキルアップできるように、問題数や時間などを考えて取り組む。</p>
図形	<p>平均正答率は、一問を除いて市の平均を上回っており、領域全体では3.6ポイント上回っている。</p> <p>○三角形の合同の証明や相似の証明に関する問題では、市の平均正答率を約8ポイント上回っている。</p> <p>●角柱の直線や平面の位置関係に関する問題では、この領域で唯一、市の平均を4.4ポイント下回っている。</p>	<p>・空間図形に関する基本的な内容(特に体積や表面積を求める問題)をしっかりと身につけさせるため、形に着目して求め方が定着するようにする。</p> <p>・空間図形は1年生の後半、および3年生の後半で教科書に出てくる内容であり、2年生ではあまり触れる機会がなかったため、意図的に他の単元と融合した形で問題を準備し、取り組む時間を取り入れ空間図形への苦手意識をなくしていきたい。</p>
関数	<p>平均正答率は、すべての問題で市の平均を上回っており、領域全体では5.9ポイント上回っている。</p> <p>○関数の活用問題や反比例の問題では、市の平均正答率を約10ポイント上回っている。</p> <p>●2乗に比例する関数の変化の割合を求める問題では、市の平均との差がほとんどなく、約1ポイントだけ上回っていた。</p>	<p>・どの関数でも、<math>x</math>と<math>y</math>の関係を式で表したりグラフに表したりする力は、おおむね身につけている。ただ、それを関連付けて考える問題が苦手な生徒が多い。そのため、関数の単元の後半に十分に問題演習の時間を確保し、多くのパターンの問題に慣れるようにする。また、図形との融合問題も多くあるため、関数だけでなく図形の単元の際にも、問題演習を取り入れ、考え方に慣れるようにしていきたい。</p> <p>・グラフや式から数量関係を見い出すことにも取り組んで</p>
資料の活用	<p>平均正答率は、すべての問題で市の平均を上回っており、領域全体では4.6ポイント上回っている。</p> <p>○資料の活用に関する問題の正答率が高く、特に相対度数を求める問題での正答率は、市の平均を10ポイント以上上回っている。</p> <p>●確率を求める問題での正答率は約88%であったが、90%以上の正答率が望まれる問題である。</p>	<p>・相対度数、平均値、中央値、最頻値、範囲などの意味をしっかりと把握できるよう、2年生や3年生になっても、折を見て復讐するようにしていきたい。</p> <p>・確率の問題では、順番が関係する場合、組み合わせを考えればよい場合に分けて考えられるよう、様々な問題場面を授業の中で取り入れていきたい。</p> <p>・確率の問題場面の読み違いが多いので、似たような問題場面を用意し、違いを意識させながら取り組むことで意識できるようにしたい。</p>